

## Q12-「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？

A- 「心太(トコロテン)」の語源については、「古古呂布度(ココロブト)」がココロテイと訛り、さらに転じてトコロテンに変わったのであろうとされています。「心太」という文字は古訓のココロブトに対する当て字ですが、トコロテンと呼ばれるようになった現在でも依然として使用され、トコロテンと読まれています。また、石川県能登地方には、少なくとも昭和初期まで「ココロフト」という言葉が使われていた地区があったといえます。なお、ココロフトというのはテングサの古名ブトグサ(大凝菜)に由来する言葉で「凝り(コゴリ)たるブトグサ」の意味と考えられます。